



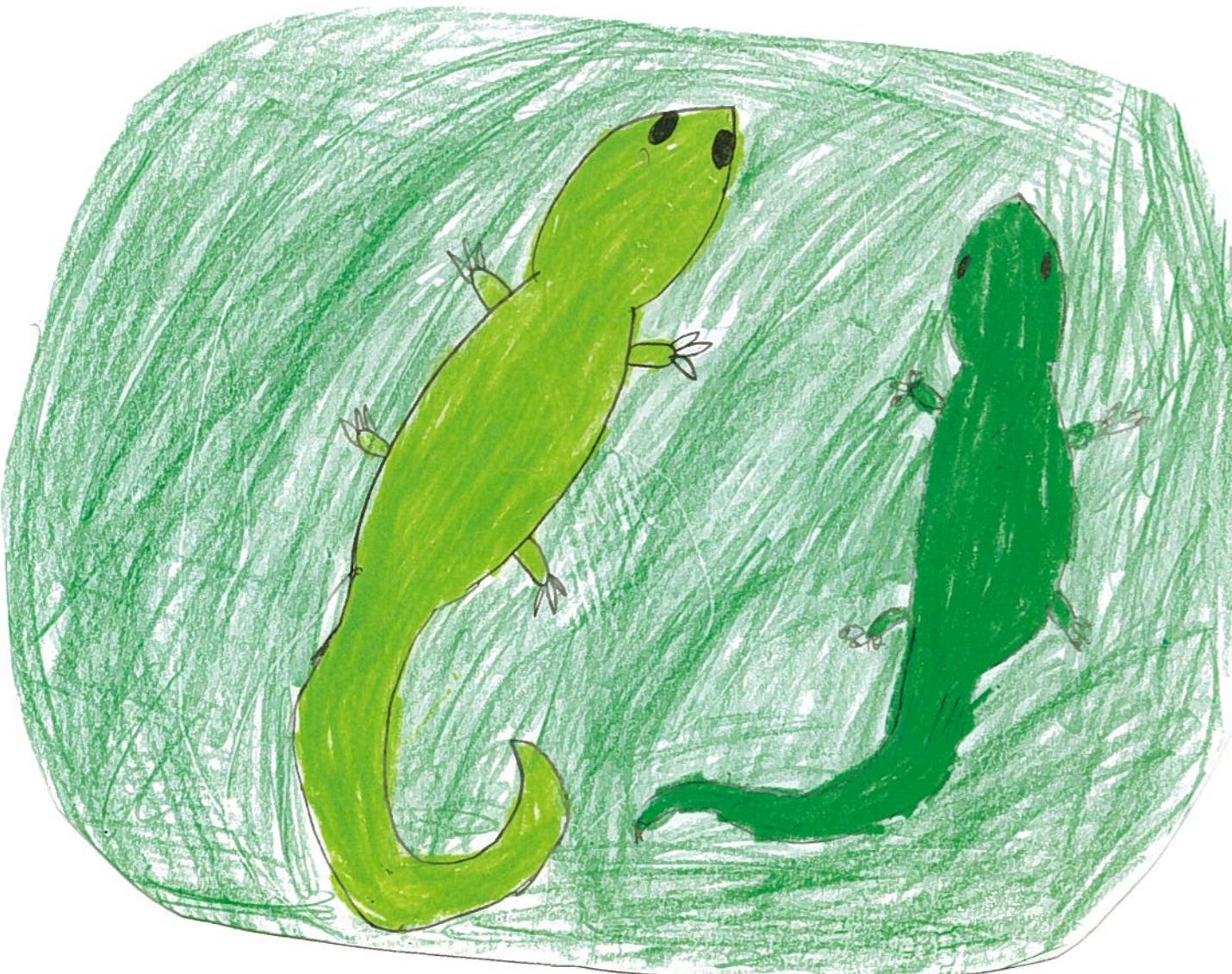
木
木
と

ト
う
う
う
!

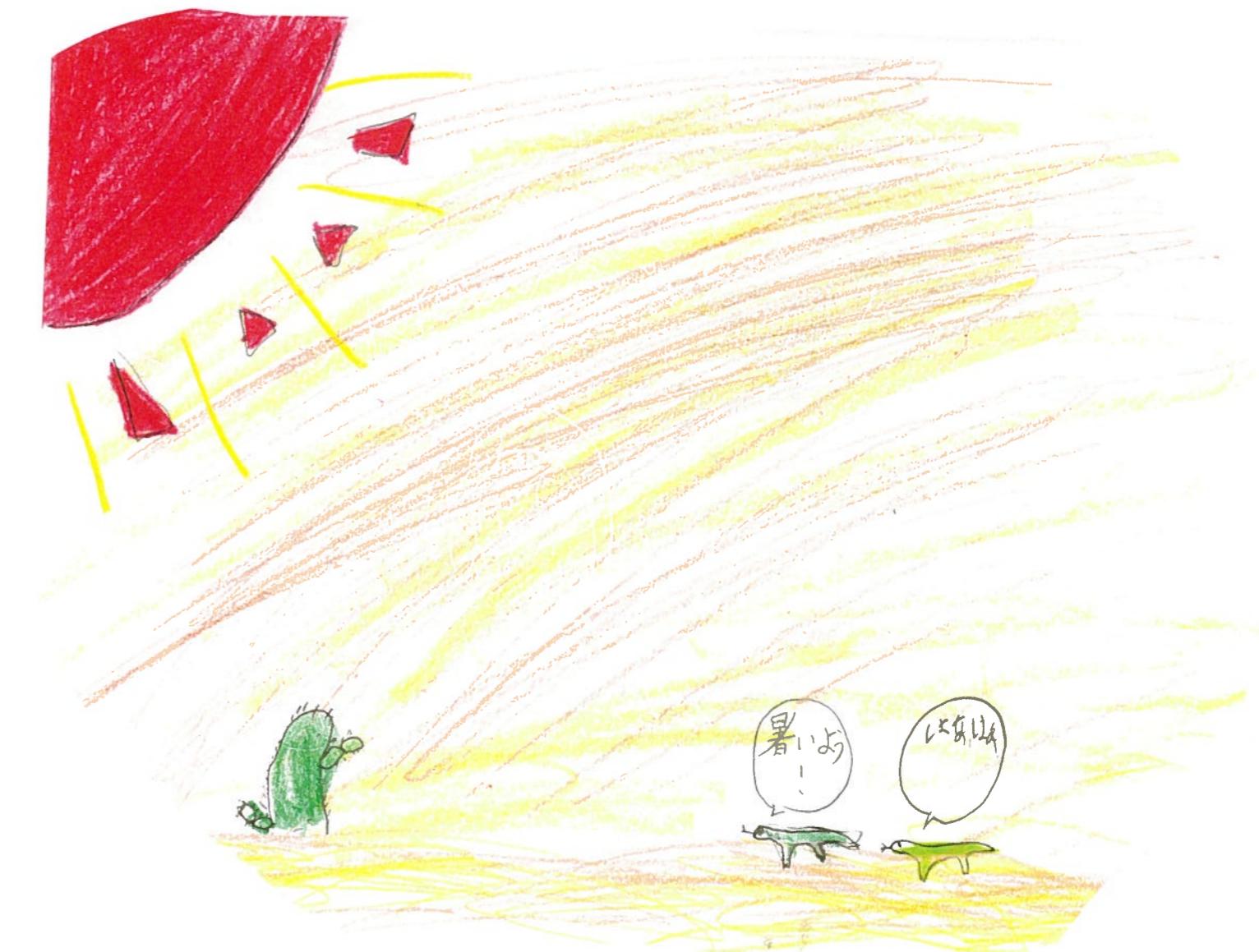


作: しぶやあみり
あべめぐみ
きむ ゆうあ
しほくろりえ

こんにちは。ぼくたちはトカゲの兄弟の
ごんたとけんとです。ぼくたちはどこか
住みやすいかを調べて、そこを守る事に
ほけた。はたして、ぼくたちは住みやすい
場所を守る事ができるのでしょうか？



ある日、ごんたとけんとはさばく、海、森 どこか
一番住みやすいか、たいけんをする事にしました。
まず2人はさばくに行く事にしました。さばくは
歩いか植物がなくて、とても暑い所でした。
「のどがわいたよ。よし、じゃあ次、海行こう！」
2人は海に行きました。



海に着きました。海の中はとてもきれいで
楽しい所でした。水もたくさんあってとてもいい
所だといいしょは思ったのですが、今度は
さばくとは反対で寒くなってほひました。
寒いよう。「じゃあ、次は森だ。」2人は
森へ向かいました。



2人は森に着きました。けんとは
森も住みにくいやうと思ひました
けれど、森にはおいしい水や、
きれいな空気、とても住みやすい
所でした。それに、他の動物も
いたので楽しい所でもありました。

「ここは、住みやすいね。『そうだね。』
すると、ガーン！ ガーン！ とても大きい音が
聞こえました。そして、また、ガーン！ ガーン！
2人は、気になってそこに行ってみました。
見てみると、たくさんの人間たちが、たくさん
の木を切り倒していました。『え、どうしよう。』
2人は言いました。



そこで、2人は森に住んでいる動物たち
と人間にになりきって、人間たちと話す事に
しました。動物たちがりかいするまで少し時間
がかかりました。「こうして、ああして、
ちかう。ちかう。そうじゃなくて。」



「よし、計画開始！」動物たちはいっせいにへんそうしはじめました。ふふふ、「木をもうたおさせないぞ！」「がんばろう！ファイト！」
 「そうだね。」「みんながんばろう。」みんなへんそうしている間に楽しくおしゃべりして
 リスは8歳で、小さい子どもになりました。
 ヘビはとても細くなりました。鳥たちは10歳で、よちれんせいくらいの子どもになりました。
 他の動物たちもいろいろな人間になりました。



「よし着いた。」動物たちは人間になりきったまま、人間たちに言話しかけました。木をたおさないで下さい。人間たちは木がないと生活できないんだよ。」

「よし、みんな行こう！」トカゲたちが先頭になんて人間たちがいる方に歩いて行きます。みんなドキドキしているようです。「みんな、だいじょうぶだよ。ごんたがおちすかせます。」





すると、トカゲたちが、「木は切ったらためという決まりはありません。けれど、そんなにたくさんは切らないで下さい。」

すると、1人の男の人が、「君たちの言いたい事はよく分かったよ。」
そして、他の人たちも、「これからは気をつけろね。」「えらいね。君たち。」
けんととこんたは大ようこび。他の動物たちも大ようこび。みんなもえんひつなどむだづかいにならぬ、気をつけてね!



最後まで読んでくれてありがとう！



この絵本は、2018年に行った「WWFジャパン森林絵本コンテスト」で、優秀作に選ばれた作品を本にしたもの。

いま、豊かな森が減り、野生の生きものたちの数も少なくなっています。世界の環境を守る「WWFジャパン」では、森にすむ生きものたちに、いまどんな問題が起きていて、どうすれば良いのかを学んだ小学生の皆さんから「絵本」を募集しました。小学生の皆さん、授業で、森や自然、野生動物について学んだことや気づいたことを「絵本」にして家族やお友達に知らせようと、一生懸命工夫して物語を作ってくれたのです。

みなさんは、この絵本を読んでどう思いましたか？ 感想を、ぜひ家族や周りのお友達と話し合ってみてください。森や、そこにすむ生きものを守りながら暮らすにはどうすれば良いか考える人がたくさん増えることが、森や動物を守ることにつながるからです。

私たちにできることのヒント「FSC®」マーク

私たちが使う紙は、森の木から作られています。むやみに木を切ってしまえば、動物たちのすむ場所もなくなってしまうかもしれません。「FSC®」は、森の生きものや、周りに暮らしたり働いている人のことを考えて、きちんと管理された森や、そこから生まれた紙に付けるマークです。動物たちの暮らしにできるだけ負担をかけないように森を使うようにしているので、FSCマークがついたノートなどを使うことは「森を守りながら使う」ことにつながります。ぜひ、このマークを覚えてください。



WWFって？

WWFは、100カ国以上で活動している地球環境保全団体です。1961年にイスで設立されました。地球上の生物多様性の保全と、人の暮らしと自然環境や野生生物に与えている負荷の軽減を柱として活動しています。

現在、特に力を注いでいるのは、森や海などの生態系を保全すること、木材や魚介類など、自然資源の利用を持続可能なものにすること、地球温暖化を防ぐこと。WWFのサポーターになることは、今すぐ、誰もが始められる環境保全です。人と自然が調和して生きられる未来を築くために、ぜひあなたの力を貸してください。



WWFジャパン（世界自然保護基金ジャパン）

<http://www.wwf.or.jp>

東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル3階

TEL: 03-3769-1241 (平日 10:00 ~ 17:00) Email:hello@wwf.or.jp

「WWFジャパン森林絵本コンテスト」2018 実施概要

参加校

青山学院初等部

アメリカンスクールインジャパン

沖縄アミークスインターナショナル小学校

つくば市立学園の森義務教育学校

西町インターナショナルスクール

ニューインターナショナルスクールオブジャパン

ブリティッシュスクールイントーキョー

幕張インターナショナルスクール

ユナイテッドスクールオブトーキョー

主催 WWFジャパン

協賛 王子ホールディングス株式会社

王子ネピア株式会社

協力 株式会社カスミ

ペんてる株式会社

監修 堀井清毅 教諭

(西町インターナショナルスクール)





みんなも、しぜんを
大切に
しよう！

みんなきょうりょくしよう！

「WWFジャパン森林絵本コンテスト2018」受賞作品

この絵本は、王子ホールディングス株式会社のご支援により制作されました。

用紙提供：王子エフテックス株式会社

用紙名：OKミューズガリバーグロスハイホワイト 157 g / m²

印刷協力：文化堂印刷株式会社